

(地独) 大阪産業技術研究所 令和2年度予算の重点項目について**1. 重点項目の基本的な考え方**

令和2年度は、中期計画の4年目として、引き続き「スーパー公設試」を目指し、1) 多様な技術支援、2) 研究開発の戦略的展開、3) 人材の育成、4) 一気通貫の企業支援、5) その他、の各分野で様々な事業に取り組む。

技術支援分野では、金属積層造形 (AM) 技術の高度な研究、試験評価を実施できる国内トップクラスの総合拠点となる「3D造形技術研究開発センター (仮称)」を構築する。

また、中期計画に基づき本部・和泉センターにテクノイノベーションプラザを設置し、大学・研究機関・支援機関と連携して、中小・中堅企業に対する一気通貫の支援をめざす。

次期中期計画策定に向け、外部の有識者から助言を得るための経営諮問会議を開催する。

これらの観点から、令和2年度の予算編成に当たって、次の項目を重点的に取り組む。

2. 令和2年度 重点項目の内容

1) 多様な技術支援

- ① 3D造形技術研究開発センター (仮称) の施設整備【継続】
- ② 国際規格 (ISO/IEC17025) の認定を取得した電波暗室による技術支援の実施【継続】
- ③ 工業標準化法試験事業者登録制度 (JNLA) に基づく試験の実施【継続】
- ④ 中小企業の海外展開支援【継続】

2) 研究開発の戦略的展開

- ⑤ プロジェクト研究の推進【継続】

3) 人材の育成

- ⑥ 地域を支える次世代加工技術者育成事業【継続】

4) 一気通貫の企業支援

- ⑦ テクノイノベーションプラザの整備【新規】
- ⑧ 産業技術支援フェア in KANSAI の開催【継続】
- ⑨ 金融機関との連携による先進技術スタートアップ事業【継続】
- ⑩ 和泉市、東大阪市と連携した医療分野への新規参入促進事業【継続】
- ⑪ おおさかグリーンナノコンソーシアム事業の推進【継続】
- ⑫ 産学官連携による自主企画研究会の開催【継続】

5) その他

- ⑬ 危機管理対策の推進・事業継続計画 (BCP) の策定【継続】
- ⑭ 防犯カメラの設置【継続】
- ⑮ 経営諮問会議の開催【新規】

1) 多様な技術支援 186,693千円

①3D造形技術研究開発センターの施設整備（181,580千円）（継続・目的積立金事業）

- 金属積層造形（AM）技術の高度な研究、試験評価を実施できる国内トップクラスの総合拠点となる「3D造形技術研究開発センター（仮称）」を構築する。

②国際規格（ISO/IEC17025）の認定を取得した電波暗室による技術支援の実施（2,213千円）（継続）

- 国際規格（ISO/IEC17025）の認定を取得した「EMC技術開発支援センター」については、中小企業の海外展開支援などに向け、最新の情報を収集し、積極的に技術支援を行っていく。また、認定機関による更新審査を受審し、認定を継続する。

③工業標準化法試験事業者登録制度（JNLA）に基づく試験の実施（2,700千円）（継続）

- 森之宮センター、次世代デバイス評価支援センターにおいて、JNLA試験認定事業者としてLED電球に関する試験を実施する。

④中小企業の海外展開支援（200千円）（継続）

- MOBIO、JETRO（日本貿易振興機構）、INPIT（（独）工業所有権情報・研修館）、公益財団法人大阪産業局、ならびに金融機関などと連携し、中小企業の海外展開支援に向けたセミナーを開催する。

2) 研究開発の戦略的展開 5,000千円

⑤プロジェクト研究の推進（5,000千円）（継続）

- 日本の金属積層造形技術を牽引する公設試験研究機関として、材料、設計、造形、後加工等の各段階での様々な研究課題を解決できる強みを活かし、一貫通貫の研究開発力のさらなる高度化と中小企業での技術利用を一層展開できる取り組みを推進する。
- 中小企業の実態に合った低廉かつ高度なノウハウがなくても利用可能なAIツールの開発および実践的なAIシステムを構築、提供できる人材育成を目指した取り組みを一体的に推進する。

3) 人材の育成 1,500千円

⑥地域を支える次世代加工技術者育成事業（1,500千円）（継続・目的積立金事業）

- 5軸制御マシニングセンタの性能を発揮させるためには、ソフトへの理解と加工機に十分習熟した人材が必要となる。中小企業への普及を促進するため、業界団体と連携したセミナーや研修会を開催し、人材育成支援に取り組む。

4) 一気通貫の企業支援 32,904 千円

⑦テクノイノベーションプラザの整備 (2,554 千円) (新規・目的積立金事業)

- 中期計画に基づき本部・和泉センターにテクノイノベーションプラザを設置し、大学・研究機関・支援機関と連携して、中小・中堅企業に対する一気通貫の支援をめざす。

⑧産業技術支援フェア in KANSAI の開催 (1,500 千円) (継続)

- 国立研究開発法人産業技術総合研究所および関西広域連合と共同で、大阪技術研をはじめとする関西圏の公設試が結集し、国連が提唱する「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に資する技術等、統一したテーマでの展示会を開催する。

⑨金融機関との連携による先進技術スタートアップ事業 (1,600 千円) (継続)

- 研究シーズと企業ニーズのマッチング、共同研究スタートに際し、良好なテーマ発掘と早期製品化に結びつける為、金融機関の協力を得て実施する。

⑩和泉市、東大阪市と連携した医療分野への新規参入促進支援 (1,430 千円) (継続)

- 和泉市、東大阪市と連携し、医療分野への中小企業の新規参入を促進する。

⑪おおさかグリーンナノコンソーシアム事業の推進 (25,620 千円) (継続)

- 本事業は大阪地域の活性化、成長分野開拓をめざす産官学連携のイノベーションプラットフォームとして森之宮センターの強みであり、引き続き強化、発展を図る。
- フォーラム実施、展示会への出展、情報受発信、研究に必要な競争的資金の獲得、イノベーションに向けたプロジェクトの創成・支援等、各種企画・運営・支援を行う。

⑫産学官連携による自主企画研究会の推進 (200 千円) (継続)

- 産学官連携による自主企画研究会 (バイオ産業研究会、次世代光デバイス研究会、食品ユニバーサルデザイン研究会) において、講演会等の交流事業を開催する。

5) その他 2,273 千円

⑬危機管理対策の推進・事業継続計画 (BCP) の策定 (500 千円) (継続・目的積立金事業)

- 和泉・森之宮両センターともに、策定した各センター版 BCP (事業継続計画) の検証作業と課題解決に向けた取り組みを進める。

⑭防犯カメラの設置 (1,273 千円) (継続・目的積立金事業)

- 和泉センターに防犯カメラを増設し、リスク管理の向上に努める。

⑮経営諮問会議の開催 (500 千円) (新規)

- 次期中期計画策定に向け、外部の有識者から助言を得るために経営諮問会議を開催する。

(参考) 令和2年度予算案の概要

収入予算の概要

(単位 百万円)

	令和2年度予算	令和元年度予算	増減
運営費交付金	3,641	3,363	278
事業収入	568	556	12
外部資金	147	140	7
その他収入	66	86	▲20
前中期目標期間積立 金取崩収入	104	114	▲10
目的積立金取崩	171	66	105
合 計	4,697	4,325	372

支出予算の概要

(単位 百万円)

	令和2年度予算	令和元年度予算	増減
人件費	2,252	2,175	77
試験研究経費	979	1,061	▲82
施設整備費	740	505	235
一般管理費	623	484	139
外部資金研究費	103	100	3
合 計	4,697	4,325	372